

ほうふ  
Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

# 市議会だより No.17

平成22年5月15日



駅名変更直後の旧国鉄防府駅

## 3月定例議会

議案の概要 ..... P2～P3

4月臨時議会 ..... P3

一般質問 ..... P4～P9

常任委員会の審査報告 ..... P10～P11

議会日誌 ..... P12

6月定例議会の予定 ..... P12

# 平成22年 3月 定例議会

3月定例議会は、2月25日から3月25日までの会期29日間の日程で開催されました。

平成21年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成22年度一般会計予算・特別会計予算をはじめ、市税条例の一部改正、留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正など議案46件、承認2件、報告4件、意見書1件、決議1件が審議され、原案どおり可決しました。

主な議案とその審議経過の概要をお知らせします。

## 条例

■ 基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

山口・防府地区広域事務組合が、21年度末に解散することに伴い、出資金が返還され、これを基金に積み立てるため、新たにふるさと振興基金を設置するものです。

■ 市税条例の一部改正

軽自動車税の免除対象に、18歳以上の身体障害者と生計を同じくする人が所有する軽自動車を加えるもので、平成22年度分の軽自動車税から適用されます。

■ 都市公園設置及び管理条例の一部改正

向島運動公園のテニスコート及び多目的広場の土・日曜日・祝日の割増使用料を廃止するもので、平成22年4月1日から適用されます。

■ 留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正

保育時間を条例で規定（保育時間は前号の議会だよりでお知らせしたとおり変更なし）するとともに、延長保育料を年額から、長期休業日ごとの金額に改定するもので、平成22年4月1日から適用されます。

（改定後の保育料）

学年始め 400円  
夏季 2,400円

冬季 400円  
学年末 400円

■ 非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

議員として審議会等の委員に選任された場合は、審議会等への出席のための日額の報酬及び旅費の支給を廃止することとし、平成22年4月1日から適用されます。

## 一般議案

■ 財産の取得

小・中学校における情報通信技術環境の整備と校務処理の効率化を図るため、コンピュータのセンターサーバー等一式を3,745万7,700円で、(株)常盤商会（宇部市）から購入するものです。

## 予算

■ 平成21年度一般会計補正予算（14号）及び平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算（4号）の専決処分（12月28日）

一般会計予算では、公共下水道事業特別会計への繰入金109万3千円を計上し、公共下水道事業特別会計では、同額を追加しました。事業内容としては、市を被告として提訴された裁判の応訴費用で、承認しました。なお、市の勝訴が確定

定めています。

■ 平成21年度一般会計補正予算（15号）  
■ 平成21年度索道事業特別会計補正予算（2号）

国の追加経済対策の関連事業予算が成立したことに伴うもので、平成21年度一般会計予算の総額に、歳入、歳出それぞれ1億9,998万7千円（事業費ペーヌ3億3,833万7千円）を追加しました。内容は、市庁舎外壁及び議会棟との渡り廊下の補修工事等22事業です。また、ロープウェイ山麓駅舎屋根改修を行うため、平成21年度索道事業特別会計予算に、510万円を追加しました。

■ 平成21年度一般会計補正予算（16号）

平成21年度一般会計予算の総額から、歳入、歳出それぞれ2億4,845万4千円を減額しました。内容は、定年前退職者の増による退職手当1億4,826万円、山口・防府地区広域事務組合の解散に伴い返還される出資金の基金への積立金3億1,700万円、豪雨災害で被災した農地や農業施設のうち、補助災害復旧事業に採択されなかった小災害に係る市単独の支援補助金として1,000万円を計上したほか決算見込みによる補正が主なもので、原案どおり可決しました。この結果、平成21年度一般会計の最終予算額は、430億4,530万3千円となりました。

■平成21年度特別会計補正予算

競輪・国民健康保険・索道・同和地区住宅資金貸付・公共下水道・老人保健・介護保険・後期高齢者医療事業の8特別会計について、いずれも原案どおり可決しました。

■平成21年度水道事業会計補正予算

水道・工業用水道事業の2会計について、いずれも原案どおり可決しました。

■平成22年度一般会計予算

■平成22年度特別会計予算

平成22年度の一般会計予算に、367億8、900万円、12特別会計予算に381億148万8千円、水道・工業用水道事業2会計予算に41億4、702万1千円が計上されました。

一般会計では、行革による保育所の民間移管、学校給食の民間委託など市民サービスへの低下等の理由により、また、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・索道事業の4特別会計及び、水道・工業用水道事業の2会計についても反対意見が出されましたが、賛成多数で、また、その他の特別会計は、全員異議なく原案どおり可決しました。

委員会での審査経過等は、10～11ページをご覧ください。(予算の内容等は、市広報4月1日号に掲載されています。)

■平成22年度一般会計補正予算(1号)

補正予算(1号)では、市議会議員補

欠選挙経費1、325万7千円を、また、補正予算(2号)では、農地等災害復旧支援事業費補助金5、800万円を計上しました。財源は予備費を減額していますので、予算総額は変わりません。

なお、この結果、農地等小災害に係る復旧支援予算は、21年度分を含め、総額9、800万円となりました。

意見書

■安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書

災害時に市民の生命と財産を守り、国の責務として社会資本整備を推進するため、国土交通行政の執行体制の強化を求めることとし、国に要望する意見書を可決しました。

要望の趣旨は次のとおりです。

- ①公共事業の円滑な推進を図るため、中国地方整備局及び事務所・出張所は廃止しないこと。
- ②公共事業の予算配分は、防災及び生活関連のインフラに重点配分し、地方整備局等の組織を災害時等に迅速に対応できる体制とすること。
- ③国民の安心・安全につながる社会資本整備は、地方に移譲することなく国の責任において行うこと。

決議

■災害土砂処理委託の調査に関する決議

昨年7月の豪雨により流出した災害土砂約5万m<sup>3</sup>を木片等の廃棄物と分別・運搬する業務を山口市の業者と約3億円で随意契約した理由を、①一般廃棄物処理施設の設置許可業者は県内にこの業者一社のみ②年度内に契約しないと国庫補助金が受けられないためと説明があり、これに対し、「3億円という高額な事業を一者との随意契約は理解できない」「業者は従業員二名、実績も少ないが、何を根拠に確実に遂行できると判断したか」等々の質疑が行われましたが、なお契約の経緯や確実な事業実施等に不透明で、説明も不十分として、地方自治法第百条第一項に基づく調査権を付与した特別委員会設置の決議が行われ、委員15人からなる災害土砂処理委託調査特別委員会を設置しました。

委員名簿は次の通りです。

- ◎伊藤 央 土井 章
- ◎大田 雄二郎 藤本 和久
- 安藤 二郎 松村 学
- 河杉 憲一 三原 昭治
- 木村 一彦 山田 耕治
- 重川 恭年 山根 祐二
- 田中 健次 山本 久江
- 田中 敏晴

(◎委員長 ○副委員長)

平成22年4月臨時議会

4月臨時議会は、4月14日に開催され、議案1件、選任1件、承認3件を審議し、原案のとおり可決しました。主な議案とその概要をお知らせします。

■災害土砂処理委託調査特別委員会の平成22年度調査に要する経費、65万円以内が提案され可決しました。

■防府市税条例及び防府市都市計画税条例の一部改正

- ①個人住民税について、65歳未満の給与所得者について公的年金の所得税を合算し、給与から特別徴収できるとするものです。
- ②都市計画税

地方税法の改正に伴う条文整備です。

■防府市国民健康保険条例の一部改正  
■平成22年度防府市国民健康保険事業特別会計補正予算(1号)

- ①保険料の基礎賦課額の限度額を47万円から50万円に引き上げるものです。
- ②後期高齢者支援金等賦課額の限度額を12万円から13万円に引き上げるものです。

これに伴い、国民健康保険事業特別会計予算に、1,780万円を追加しました。

2議案とも反対の意見もありませんでしたが、賛成多数で承認されました。

# Q&A

## 一般質問



3月定例議会では、17名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を7月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

### 防府市の行政サービスについて！

山田 耕治（民主・連合の会）

**問** 市民の皆様の満足度の向上を図ることに対し、十分な対応ができて

いるのか？また、各課においても業務マニュアルの作成等があるのか？

**市長** 職員一人ひとりが、各々の能力を高めていかなければならない。民間企業への職員派遣研修や経営品質向上活動に取り組んで、組織能力の向上に努めている。接遇については、マニュアルを策定し、全庁を挙げて接遇の向上に取り組んでいる。

**問** 市役所の売店へ行く階段を撤去しスロープにできないか？

**総務部長** 現状では設置基準に適合する長さを確保できないため非常に困難である。市民サービス

向上の観点から売店の設置場所や規模、経営形態等、様々な要素を見直す必要があるので、引き続き研究していきたい。

**問** 防府市のホームページへのアクセス件数の推移は？市民から寄せられた要望がホームページに反映されているか？

**総務部長** 年々アクセス件数も増加し、20年度は、24万8,456件となっている。ホームページが見つけやすい・親しみやすい・使いやすい・親しみやすいに改善していくよう努めていく。

**要望** ホームページに、観光を含めたイベントカレンダーの検索機能や公共施設予約システムで、公民館やスポーツセンター等がネット上で予約できるなど他の自治体も参考にしたりニューラルしていただくことをお願いする。

**◆小・中学校の洋式トイレ推進について**

◆障がい者スポーツ振興支援について

◆障がい者スポーツ振興支援について

### 市民のいのちを守り、ライフケア高砂の早期再開と、経済対策を

大田 雄二郎（明政会）

**問** 市民のいのちを守る

ことについて。昨年7月21日の豪雨では避難勧告が遅れた為、市民17名が死亡された。災害対策本部設置時の市長、副市長、本部の役割について。

**市長** 8時30分に災害対策本部を立ち上げ後、9時40分頃西浦での車座トーク（移動市長室）に出席。そして12時15分頃、勝坂262号線、奈美、真尾の大蔵神社、ライフケア高砂で土石流が発生して、市民14名が死亡された。

**問** 真尾の特別養護老人ホーム「ライフケア高砂」の早期再開に向けた市の対応について。

**市長・健康福祉部長** 市も再開を切望している。県に要望していきたい。

**問** 経済対策として、住宅の耐震ニューディールについて。

**土木都市建設部長** 今後



今年はアスピレートで追悼式典を開催。「防災の日」の宣言」の表示を市役所入り口前に掲げることにより、碑の建立にかえさせて頂きたい。

**問** 真尾の特別養護老人ホーム「ライフケア高砂」の早期再開に向けた市の対応について。

**市長・健康福祉部長** 市も再開を切望している。県に要望していきたい。

**問** 経済対策として、住宅の耐震ニューディールについて。

**土木都市建設部長** 今後

## 教育・ボランティアの育成・ 空き農地の情報公開

今津 誠一（六日会）

**教育委員会の所管業務の  
市長部局への委任につい  
て**

**問** 教育委員会は所管業務が広すぎる。スポーツ・文化・公民館・生涯教育は市長部局へ委任し、主要な業務である学校教育に集中し教育の再生を図るべきでは。

**教育長** スポーツ・文化は法改正で一部を除いて市長部局で管理・執行できることとされた。生涯学習も業務内容の見直しが必要と感じている。今後市長部局と協議してまいりたい。

**「地域の子どもは地域全体で責任をもって育てる教育システムの構築」について**

**問** 先ず、教委が中心となってこれの構想を練っていただきたい。

**教育長** 次代を担う健全で元気な子どもを育てるためには学校・家庭・地域社会・教育委員会・行

政が一体となって取り組むことが重要と考えている。それぞれの連携を強化し、推進してまいりたい。

**問** 自治基本条例は市民の参画と協働を謳っている。協働の推進にはボランティアの育成が不可欠だがボランティアの育成状況は。

**市長** それぞれの主管課と市民活動支援センター、社会福祉協議会が連携して取り組んでいきたい。

**問** 耕作放棄地等の空き農地を調査・把握しているか。また、この情報公開をしているか。

**産業振興部長** 現在の空き農地は216haと把握しているが、精密な調査に基づくものではない。

農地の所在地等の公開は現時点では個人情報保護者の観点から難しいと思われる。今後公開のための方法を調査し、前向きに検討してまいりたい。

## 防犯灯・蛍光管の取替えについて LED照明の導入について

河杉 憲一（六日会）

**問** 中国電力は、防犯灯蛍光管の無料取替えサービスを行ってきたが、来年3月をもって廃止される予定。対応は。

**市長** 昨年12月中国電力にサービス廃止の見直しを要望したが、非常に厳しい状況である。市内で年間約1,400灯の取替え実績があるが、費用を全額自治会が負担した場合、相当の負担増が予想される。自治会の負担を少しでも軽減できるよう助成制度全体の中で、前向きに検討したい。

**問** 大幅なCO<sub>2</sub>や電気料金の削減が見込め、蛍光管の寿命も約10年と長いLEDの防犯灯を導入してはどうか。

**市長** LED照明は、省エネルギーで、長時間の点灯を必要とする防犯灯に適していると考えられている。しかし、商品としての歴史が浅く、今後の技術の向上を見定めな

ら前向きに検討したい。



**問** 市庁舎や公共施設は、蛍光灯の使用本数が多くなりLED照明を導入すればかなりの節電効果が期待できる。また公民館やソラールなどに設置することにより、市民に対し、地域の環境モデルとしてECO活動の推進につながると思いがどうか。

**市長** 市庁舎や公共施設の照明については、今後も可能な箇所から省エネルギー化を図っていくことにしており、LED照明など次世代型の照明についても技術の進展により製品能力も日々向上していくと考えられるので、必要に応じて積極的に導入を検討したい。

ら前向きに検討したい。

## 地元業者への優先発注を 必要な「要綱」の見直し

木村 一彦（日本共産党）

**問** 現在、市内の中小建設業者は公共工事の減少などきびしい状況に置かれており、公共工事の地元への優先発注を強く求めています。これについて市の考えは。

**入札検査室長** 要綱に基づき原則として入札参加資格を持つ市内業者の中から選定することになっていますが、市内業者では施工が困難な特殊工事や大規模な工事などの場合は市外業者を指名しています。大規模な工事発注に当たっては「共同企業体取扱要綱」にもついてゼネコンなどの市外業者が対象になることもあります。

**問** 「要綱」では4億円以上の建築工事は共同企業体（JV）に発注することになっており、これまで多くの場合市外のゼネコンがその代表者となって地元から大きな利益を吸い上げてきました。

一方、市の「制限付き一般競争入札実施要綱」では「対象工事と同種の工事の施工実績があること」を入札参加資格としており、大規模な工事の実績がない市内業者は入札に参加できない仕組みになっています。これでも大きな工事を受注できません。「要綱」を見直す必要があるのでは。



ゼネコンの西松建設が22億9千万で請け負った新体育館。

**入札検査室長** ご指摘の点については今後検討したいと思います。

**その他の質問**  
◆災害時の要援護者の避難対策  
◆景観をいかしたまちづくり

## いのちを守りたい。 子どものいのちを守りたい。

青木 明夫(民主・連合の会)

**問** 自殺対策基本法が18年、国会決議され、地方公共団体の責務について。

**健康福祉部長** 経済、生活面での相談は法律専門家と連携。心の問題は、専門医療機関等を紹介。

**問** 自殺対策ゲートキーパー養成システムに取り組んでいる自治体もあるが、市の取組は。

**健康福祉部長** 養成は行っていない。

**問** マニフェストに子育てに関して安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めるとあるが、どのような出産環境を進めたいのか。

**市長** 市民の皆様が、安心して出産できる医療体制を整備することは極めて重要な課題であります。

**問** 県立医療センターが独立行政法人化されるが、仮に三次医療に特化した場合の対応は。

**市長** 今後の推移を注視

し、必要に応じて県に要望していく。

**問** 産科医不足に対する市の対応について。

**市長** 対策について本市単独の取組も含め検討する。

**問** 地域医療条例制定の可能性について。

**市長** 地域医療を守るための、条例の研究をする。

**問** 乳児のヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種に係る市独自の補助金対応について

**市長** 両ワクチンの必要性は認識している。対応を検討する。

**要望** 防府市では年間約1,000人が誕生しています。約450人が他市で分娩をお願いしているのが現状です。ふるさと出産もできるような環境づくりを強く要望します。

## 財源根拠のない 市長の公約

伊藤 央(息吹)

**問** 市長が4選出馬表明に際して掲げた6つの公約について実施スケジュールと所要額は。

**市長** 次期4年間で可能なものから実施する。所要額は公表を差し控える。

**問** 財源、工程、数値目標がないものは「マニフェスト」とは呼ばない。公約実施の財源として、市議半減、市長退職金廃止、市長給与半減などで「年間1億2千万円(4年で4億8千万円)を生み出すとしているが、市議半減は市議選のある24年度11月以降の効果、市長の退職金は「今期は受け取る」と言われているので、効果は4年後。この試算すると、次期4年間で効果額は2億円弱。公約で挙げられた施策が恒久的なものであるのに対し、市長給与、退職金の減は、4年後に市長が変われば続かず、恒久的

な財源とはなり得ない。市議半減が議会に否決されれば財源はほとんどなくなるが。

**市長** 効果額は議員半減が大前提。

**指摘** 財源がない公約が実現できるとは思えない。

**◆行軍について**  
**問** 市長は「職員数160名減」などと喧伝している。「民間の経営感覚で市政を運営する」と言われてきた市長に聞くが、企業にとって人材とは。

**市長** 宝。  
**指摘** その通り民間企業では、社員を減らしたことを自慢する経営者はいない。人減らしを自慢するとは、「民間の感覚」どころか、非常に「お役所的」だ。

**◆市の質問項目**  
**◆市改良事業について**  
**◆防犯灯のあり方について**

## 環境家計簿の普及と河津桜の 対策について

斉藤 旭(民意クラブ)

**問** 本市は省エネとエコに効果が期待が出来る環境家計簿に取り組んでいるがその効果と普及対策は。

**生活環境部長** 私たちの生活より発生する温室効果ガスは近年大幅に増加しており家庭での取組みが特に重要、環境家計簿は19年度から取組んだ。これまで、市内主要事業所、市職員を対象に試験的に実施、20年度に華城、21年度新田地区の全戸に配布。将来的には、市内全戸実施を目標。

**問** 環境と家計に優しい運動を盛り上げる為、優秀作品を表彰しては？

**生活環境部長** 表彰制度については前向きに検討したい。

**問** 最近市内各所に携帯電話のアンテナが林立して景観を損ねているが規制できないものか。また携帯電話各社が立てているアンテナを共用し、一

つにまとまらないか？

**土木建設部長** 市民の利便性から公共性が高く規制及び、各社のアンテナの共用については難しいが、色合い等について配慮するように指導する。

**河津桜の将来的な計画と予約について**  
**問** 河津桜は好評であり、申し込みが多く、外れた人には次回最優先し予約が出来るよう善処願う。

**市長** 場所については、鐘紡沖の新築地緑地公園を活用し300本目標、予約については検討したい。

**◆他の質問項目**  
**◆本市の交通安全対策**

※環境家計簿 電気ガス、ガソリンなどの使用量を記帳し、家庭において二酸化炭素排出量を算出、把握できるもの。

### 災害時、応援支援活動団体について

山根 祐二(公明党)

**問** 団体、企業との災害協定の内容はどうか。

**市長** 関係行政機関のほか、救援、救助活動では山口県広域相互応援協定、日本レスキュー協会、九州救助犬協会と締結。災害情報についてはケールビジョン(株)、(株)ブラザF&Mと、食糧等について市内6業者と、また、民間賃貸住宅の媒介に関する協定を(社)建協会防府支部と締結している。

**市長** 行政6機関で延べ34日間3,680人、航空隊は3県2市から延べ7日間46人、医療関係では3機関で延べ3日間15人、救助犬活動は2法人、延べ8日間26人、32頭協力いただいた。

**問** 災害協力に対する感謝のお礼や顕彰は。

**市長** 8機関・団体には私が出向き、感謝状をお渡しし感謝の意をお伝えした。また、支援物資

をいただいた団体・企業や、義援金をいただいたうち、住所等確認できた方には感謝の意を表した礼状を送付している。

**問** 個人、団体のボランティアの方々には。

**市長** 個人1,800人、団体89の皆様にご支援いただいた。あらゆる機会でお礼を言上している。

**問** 市長名の感謝状を更

に送ってはどうか。

**総務部長** 網羅できなかつたことは自覚し、差上げたほうが良かったかというところも、今になって考

えればある。

**要望** 今からでも行動を起こしていただくよう要望する。

**その他の質問項目**

◆介護予防について



ボランティア活動

### 「長期優良住宅の普及の促進」について

安藤 二郎(息吹)

**問** 長期優良住宅の普及の促進について都市計画道路との整合に問題があるが、見解は。

**土木都市建設部長** 長期優良住宅の取り扱いについては、防府市で定められた取扱要領に基づき「認定」手続きをしておりますが、その中で、都市計画道路等の区域内では、認定を行わないとしていま

す。しかし、ただし書きにおいて、その都市計画道路が長期にわたり事業化されないと判明している場合には、認定は行える、としております。防府市の都市計画道路の場合、事業化が判明しておりませんので、区域内での認定は行えない、ということになりま

**問** 都市計画法によれば、都市計画道路内の木造建築物の建設は許可されているので、今回の措置は、都市計画道路内では、長期優良住宅と同等

の建物は建ててもいいが、長期優良住宅として認定はしない、ということになるがそれでいいのか。

**部長** そういうことになり

**要望** 防府市の場合、手がつけられていない都市計画道路のほとんどが昭和33年に計画されたものであり、ただし書きでいう「長期にわたり事業化されないと判明している場合」に相当し、認定できる、とすべきではないか。都市計画法との整合、国の当該住宅の積極的促進から市内でもう一度検討し、考え直すべきではないか。

**その他の質問項目**

◆三田尻中関港港灣計画について

①人工島建設について

②「みなとオアシス三田尻」計画について

◆住宅用太陽光発電システム設備費補助金について

### 市長の選挙政策を明らかに！ 両候補の政策論争を

田中 健次(市民クラブ)

市長選挙に、島田教明氏と松浦市長が立候補表明されましたが、二人の選挙政策が見えてきません。松浦市長が記者会見で発表した選挙政策の内容を明らかにし、活発な政策論争を期待したい。

**問** 「特別養護老人ホームの拡充」とは高齢者保健福祉計画(第5次)の目標値を超えた拡充か、単に目標値の実現をめざすということか。

**市長** 計画が達成できてもニーズが大きく、十分な床数を確保する必要があります。

**要望** 第3次計画からの未整備分が30床あり、積極的に取り組んでほしい。

**問** 「小学校給食自校方式の堅持」とは、民間委託を現計画の8校で止めるということか。

**市長** 直営か民間委託かは精査して個別に判断します。

**問** 市教委の試算では、委託計画のない学校を自校方式で民間委託すると経費が増加するが、自校方式も精査するのか。

**市長** 民間委託をやりながら自校方式堅持は3、4年が限度と考えている。

**意見** それでは、自校方式の堅持とは言えない。評価できない。

**問** 市議会は市長と対立・競争関係にある機関であり、議員定数半減は執行機関の独走を強め、地方自治法の二元代表制の考えに反しないか。

**市長** 議会を否定するものではありません。

**意見** 退職金のダンピング競争ではなく、市政のビジョンや戦略を掲げて政策論争してほしい。

**その他の質問項目**

◆山頭火ふるさと館開設



### 深刻な山地災害の対策について 要介護者への支援について

山本 久江(日本共産党)

**問** 昨年の豪雨災害では、多数の山地災害が発生した。今後、治山・砂防事業を計画的にどのように進めていくのか。また、防災の立場から森林づくりをどう推進するの

**市長** 早期に復旧が必要と判定された41カ所、国・県による復旧工事が着手され、新年度にも新たに8カ所が実施される予定。市はその支援に努めており、今後も関係機関に引き続き要望する。森林の持つ防災機能を高め、少しでも災害に耐えられる森林づくりに努めたい。

**要望** 個人所有の山林被害に対する市補助制度をつくってほしい。

**市長** 現在21世帯の方が引き続き市営住宅や民間賃貸住宅に入居されているが、新年度も家賃補助

を行い、支援したい。

**問** 介護保険の利用料の負担が重く、受けたいサービスも受けられない状況がある。低所得者に対する市独自の減免制度がつかれないか。

**健康福祉部長** 低所得者に対する軽減措置は、国の介護保険制度で実施されているが、市単独の軽減措置は、今のところ考えていない。

**問** 家庭での移送や路線バス等の利用が困難な要介護者の外出支援について、タクシー料金助成等検討できないか。

**健康福祉部長** 障害者の福祉タクシー助成券が利用できない要介護認定者の外出支援について他市を参考にしながら今後検討したい。



### 文化・芸術の振興を！ 低地帯災害対策・定住対策など

重川 恭年(民意クラブ)

**問** 市の文化・芸術振興対策の基本的考え方をお尋ねしたい。

**教育次長** 文化芸術は豊かな社会を築くために意義あるもので、市総合計画に沿って振興させてい

**問** 具体的にはどうか。

**教育次長** 各種の関係団体、個人に対する活動支援や施設整備・文化財の調査・保護事業など多岐にわたっている。

**問** 近隣他都市に比べ文化行政への取り組みがおかれているのではない

**教育次長** おくれてはいませんが、今後とも市総合計画の具体化を進めたい。

**要望** 英雲荘改修の早期完工、月の桂の庭の文化的価値や山頭火など人物顕彰等々、ハードとソフト両面の充

実を要望する。

**教育次長** 両面を充分念頭に置いて進展させたい。

**問** 文化芸術振興条例を制定してはどうか。

**教育次長** 市総合計画との整合性を図りつつ、文化振興ビジョンの策定をし、その中で考えたい。

**問** 低地帯の浸水等、災害防止対策はどうか。

**市長** 各種の事業を組み合わせて鋭意整備・努力をしていきたい。

**問** 人口減少に向かう時、活力ある市勢を持続させるため、人口定住対策を打ち出すべきと思

**市長** 充分認識しつつ、Uターン、企業誘致等の推進に努めていきたい。



駅前立つ山頭火像

### 乳がん・子宮頸がん検診による早期発見・治療で大切な命を守って!!

高砂 朋子(公明党)

**問** ①3月末までとされている乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン事業は、女性の健康と命を守る上で大切な事業。新年度以降の継続支援をお願いしたいが、②早期発見・治療のために、検診の啓発が必要。あらゆる機会・場所を捉えてパンフレットの配布を。県内で一番高い、乳がんマンモグラフィ検診料自己負担分、子宮頸がん検診も上位。自己負担分の減額で、受診率向上を図っては

③公明党として、全国で救える命を救ってほしいと、細菌性髄膜炎予防のヒブワクチンや、若い女性に増加している子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を訴えている。子宮頸がんにおいては、性行為経験のないと考えられる中学校1年生女子を対象に公費助成をしては

**市長** ①女性の健康支援として有効な対策であ

り、今

後4年間仕事継続する必要があると考えている。②新しいパンフレットを作成し活用配布の予定。検診料は現状維持でお願いしたい。③各ワクチンの有効性は認識している。高額な接種費用の負担軽減を国に要望する。



#### その他の質問項目

① 児童生徒が置かれている環境が、様々な問題で深刻化している場合、教育・社会福祉両面からの支援が必要。SSW(スクールソーシャルワーカー)の活用が必要では。

② 交通弱者の安全対策が必要。消えかかっている横断歩道などの整備と中学校周辺にもカラー舗装を。

### ランクを覆した工事発注は不条理 7月21日の追悼式を梅雨入り前に

三原 昭治(民意クラブ)

**問** 農地の補助災害復旧事業で、前代未聞といえる等級格付けを外した入札としたのはなぜか。

**入札検査室長** 災害復旧で市内業者が不足状況であることから。

**問** 全体数が決まっております、不足解消にはならないと思うが。

**入札検査室長** 工事発注の上下限額がなくなり、解消につながると思う。

**問** 当初条件の共同企業体での対応は不足解消に適切と思うが、なぜ、急ぎよ撤廃したのか。

**入札検査室長** 廃掃法から一つの会社での対応とならないと判断。

**問** 共同企業体に対してそのような取扱いは聞いたことがないが、違法になるというのか。

**入札検査室長** 法に違反はしない。

**問** 業者不足の有効な手法の共同企業体要件を撤廃し、建設業法に定める



工事発注される被災地農地

経営事項審査を基に、市が等級格付けを行って円滑に行われてきた業者選定を市が自ら覆し、業界の形態を振り曲げるような不条理な市の対応を市長はどう受け取るか。

**市長** 指摘はごもっともだと思います。今後、十分な対応を図っていききたい。

**問** 7月21日に追悼式を行うというが、梅雨期でリスクも高く、昨年と同様の状況が発生することも考えられる。梅雨入り前に行えば市民への啓発、喚起につながるのではないか。

**総務部長** 貴重な意見として預らせて頂きたい。

### 市長会員の団体、早朝 集会で佐波小校庭に無料駐車

土井 章(明政会)

**問** 佐波小校庭を、市長も会員の通称「朝起会」が駐車場として、毎朝、4時から6時過ぎまで、無償で使用している。安全対策上問題だと考えるが、①使用許可の理由。また、学校安全上問題ないか。②市教委の許可に対する学校長の評価。③同様の申請には、他校も認め許可するか。

**教育次長** ①「防府市立学校施設の使用に関する規則」に基づき許可。②学校長からは、安全上や管理上、支障があると報告を受けていない。③規則に照らし判断する。

**問** 国庫補助対象外の農地等の復旧について、国の財源手当のある起債を活用せず、1月25日になって、全額市費で支援措置をしたが、①11月に起債申請しないと決めるに当たって、市長・副市長は、どの様なリーダーシップを発揮したか。②起債申請しなかったため、数千円円の財源手当てを失ったが、市民に対し、どう説明するか。

**副市長** 小災害復旧事業(起債事業)も、補助事業と同様の書類・資料が必要であり、補助事業の進捗と同時に行業を進める事は、物理的に無理と判断した。

**問** 当初、既に自費で復旧した農地や工事費13万円以下の農地の救済は考えず、議員の質問に答える形で、3月8日に全ての被災農地の救済措置を発表。所謂、小出しで、とても市民の心を心とした対応ではない。起債申請せず、国の財源手当を逸したことに自らペナルティを課す考えはないか。

**市長** 起債申請しなかった事は、確かにそうだが、タイムな環境の中で仕方なかったと考えている。

**問** 特別養護老人ホーム(特養)への入所待機者は650人を超え、入所施設が足りない状況下である。介護基盤の整備にどう取り組むのか。ピークを迎える2025年までに介護施設を少なくとも2倍に増設する必要がある。介護保険事業計画(21年度〜23年度)の中で特養の増設計画は進んでいるのか。

**市長** 2025年に向けて、今後、国から示される基本指針に沿い、必要な施設整備に向けて計画したい。特養については、在宅及び入院中の要介護4・5の特養待機者が「111人」おられることを考慮し、広域型特養を新設で30床、増設を20床、地域密着型特養を含め、合計「146床」の増設を計画している。

**問** 特養施設は常に満床である。増設「146床」は同計画の23年度までに

### 特別養護老人ホームへの入所待機者について

山下 和明(公明党)

**問** 特別養護老人ホーム(特養)への入所待機者は650人を超え、入所施設が足りない状況下である。介護基盤の整備にどう取り組むのか。ピークを迎える2025年までに介護施設を少なくとも2倍に増設する必要がある。介護保険事業計画(21年度〜23年度)の中で特養の増設計画は進んでいるのか。

**市長** 2025年に向けて、今後、国から示される基本指針に沿い、必要な施設整備に向けて計画したい。特養については、在宅及び入院中の要介護4・5の特養待機者が「111人」おられることを考慮し、広域型特養を新設で30床、増設を20床、地域密着型特養を含め、合計「146床」の増設を計画している。

**問** 特別養護老人ホームの増床については、146床中87床は決定しているが、残りの59床をどうするのが見えてこない。特養の入所申請をされ入所ができず困っておられる方を同計画の中で解決することが本来の目的です。23年度までに整備をお願いしたい。

**問** 整備できるのか。

**健康福祉部長** 増設、新設の50床は県に申請しているが、20床の新設は大丈夫だが、30床の新設は引きずっている。県の判断に任せる。地域密着型の特養は「29床」×2施設が決まっている。

**問** そうすると、特別養護老人ホームの増床については、146床中87床は決定しているが、残りの59床をどうするのが見えてこない。特養の入所申請をされ入所ができず困っておられる方を同計画の中で解決することが本来の目的です。23年度までに整備をお願いしたい。

#### ◆その他の質問項目

市民教養講座の定員数について



# 常任委員会の審査報告

3月定例議会では、各常任委員会に付託された案件について審査が行われました。ここでは、平成22年度予算についての質疑応答などの主な内容をお知らせします。

（2月26日、3月15、16、17日開催）

## 総務委員会

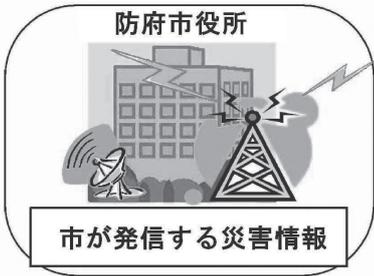
### ●防災行政無線増設工事

屋外に設置しております拡声子局からのサイレンが聞こえにくい地域が一部ありましたので、これを解消するため、古祖原、右田小学校、富海漁協、華城小学校の4カ所に新たに屋外拡声子局を設置するとともに、既存の子局のスピーカーの増設、機種変更を行いますとの説明がありました。

### ●緊急告知FM放送

同報系防災行政無線を補完するため、

「FMわっしょい」や「山口ケールビジョン（株）」を活用した緊急告知放送システムとして、停電時でも受信可能な防災



ラジオを、災害時要援護者施設や要援護者がいらっしやる世帯は無償配布、その他の世帯は希望者に4,000円で配布を22年度から3カ年で予定しております。なお、22年度は右田、小野、松崎地区とし、残りの地区は順次配布する予定にしていますとの説明がありました。

●豪雨災害追悼式  
7月21日にアスピラートにおいて、御遺族、ライフケア高砂や被災地域の方々、自衛隊、警察、消防等の方に案内状をお送りして開催する予定にしておりますとの説明がありました。

※意見  
①メールサービス災害情報は、安くして確実に情報が伝えられるが、高齢者は携帯電話等の登録の操作が苦手な人も多いので、出前講座等の場で登録をしてあげてほしい。  
②農地等の災害復旧工事において、設備や人材が不足しているB等級以下の業者がA等級の工事を共同企業体を組まずに施工するのは困難なので、他市の事例や業者の声も参考に、もう一度よく検討すべきである。

### ●競輪事業

記念競輪の売上げが景気の低迷もあり、21年度は大幅に減少しています。来年度も厳しい売り上げとなることが予想されるため、22年度予算も、大幅な減となつていきますとの説明がありました。

また、包括民間委託は、全国では、22年度から始める2場も加え、13場が包括民間委託の予定であり、いずれも人件費等の開催経費の削減等により収支の改善に寄っていると聞いています。防府市も選択肢の一つと考えますが、問題点もありますので、他場を調査、研究して22年度中には包括民間委託について結論を出せればと思っておりますとの説明がありました。

### ●採決

全員一致で、原案どおり承認しました。

## 教育民生委員会

### ●クリーンセンター整備・運営事業の契約モニタリング業務

この事業は、PFI手法により実施するので、モニタリング業者は、提案内容及び契約交渉内容、全ての合意事項が完成物として出来上がるように、設計監理や施工監理等を行います。市も設計・施工監理についてはモニタリング業者と同様に業務を遂行しますが、業務内容については、書類を毎月提出させ、チェックするとの説明がありました。

### ●小学校給食食器更新

現在、小学校給食については、一部の

学校を除き、長年アルマイト食器を使っているが、保護者をはじめ各方面からの強い要望を踏まえ、また食育の観点から、今後、計画的に食器を変更していきます。現在使用しているのは、ポウルと皿の2種類だが、米飯給食に対応するため、ポウル2個と皿1枚の、合計3種類にする予定で、食器が現在より1種類増加するため、それに伴い配膳台や消毒保管庫などの増設の必要がある。平成22年度は華浦小学校と小野小学校で実施し、順次、各学校での更新を進めていきたいとの説明がありました。



### ●学校給食調理等業務委託

民間委託の新規導入時に、他市の状況を調べたところ、この種の委託業務は一般的には5年契約であったが、検討の結果、最初ということで、3年にすることを選択した。中関小学校と華城小学校については、2回目の委託なので、業者の選定やモニタリングの経験も積んできたし、5年にしても、今までどおり安定した給食が提供できると判断したとの説明がありました。

※意見

①緊急通報装置設置事業

設置やレンタル料は無料であるが、通報者の設定の変更には費用がかかり、年金だけで生活をしている高齢者には負担が大きいので、助成制度を整備していただきたい。

②火災警報器設置事業

平成22年度で助成制度が終了するため、民生委員や自治会長を通じて、利用促進に努めていただきたい。

③小・中学校施設の補修

緊急を要するものを優先しているというところだが、事故が起きてからでは遅いので、学校からの要望については、実態を精査し、対応していただきたい。

●採決

新しく委託する小野小学校と華浦小学校及び改めて委託する中関小学校と華城小学校についての小学校給食調理等業務委託関連経費を削除する修正案が提出されたが、賛成少数で不承認となり、原案どおり承認しました。

産業建設委員会

●まちの駅

観光協会がまちの駅の指定管理者となったが、まちの駅では、施設の維持管理とまちの駅を中心としたイベント、観光案内等の業務を行うものです。

これまで協会が行っている業務に新たに加わり、観光協会助成金とまちの駅管理運営委託料の重複はないとの説明がありました。

※意見

①4月にオープンするまちの駅で観光情報が提供されるので、位置的に近い観光情報館（コア銀座）のあり方について協議する必要がある。



●まちづくり防府支援事業

この事業は、天神ビアの利用、チャレンジショップや各種のイベント等により中心市街地の賑わいの創出には寄与しているが一過性のため、各商店の経常的な売り上げの増加には繋がっていない。賑わいを一過性にしないよう、支援事業を検証するとともに、今後、どのように事業を充実させていくか、まちづくり防府で協議しているとの説明がありました。

●需要に心える園芸産地構造改革推進事業

この事業は、事業主体の農協が大道地区で整備する施設を地元園芸農家が借り受け、トマトの産地化を目指す取り組みに助成するもので、ハウス等の園芸施設

は相当な経費を伴うので、今後もこうした事業への助成を継続したいとの説明がありました。

●市営住宅の修繕

大平市営住宅は老朽化のため、入居者には住み替えを勧められているが、現に同居している建物の修繕等は、必要に際して対応する。また、将来的には用途廃止を考えており、その場合は早い時期に入居者に知らせる必要があるとの説明がありました。

●下水道事業

平成30年度に、市街化区域の管敷設を終了する予定で事業を進めているが、平成20年度末の施工延長は約17km、市街化区域の水洗化率は約80%、今後、毎年2%程度の伸びを見込んでいるとの説明がありました。

※意見

①索道事業は利用者数は伸びているものの、運賃収入はさほど伸びておらず、一般会計からの繰入額も大きい。また、支柱等の耐用年数を考慮すると、平成22年度が3年ごとにある方を検討する最終年度となるので、真の見直しが必要である。

●採決

全員一致で、原案どおり承認しました。

●水道事業・工業用水道事業

市民のライフラインである事業にもかかわらず、当直業務を始めとして、民間委託することに危惧を覚えることから、承認しがたいとの反対意見がありました。賛成多数で原案のとおり承認しました。

中司 実 議員 逝去



防府市議会議員の中司 実様が平成22年1月30日、76歳で亡くなりました。

中司議員は、昭和51年に初当選以来、連続9期33年間にわたって市政の発展にご尽力いただき、この間、議会運営委員会委員長、総務委員会委員長、経済委員会委員長などを歴任され、平成14年12月から平成16年11月まで第35代議長を務められました。

なお、永年のご功績により、従五位 旭日小綬章を受章されました。

謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。



# 議会日誌



## 2月

- 3日 地域活性化調査特別委員会視察(～4日)  
・岡山市駅元町地区第二種市街地再開発事業  
・中心市街地活性化基本計画(米子市)
- 5日 議会改革推進協議会作業部会
- 8日 観光振興対策調査特別委員会視察(～10日)  
・エコツーリズム(佐世保市)  
・歴史的街並み整備事業(唐津市)  
・正助ふるさと村(宗像市)
- 15日 議会改革推進協議会作業部会
- 18日 勉強会  
・農地等災害復旧支援事業
- 22日 議会運営委員会  
勉強会  
・新年度予算、条例改正等
- 25日 3月定例議会開会  
広報編集委員会
- 26日 常任委員会(総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会)

## 3月

- 2日 本会議(委員長報告、市長施政方針演説)  
議会改革推進協議会
- 4日 本会議(新年度予算審議)  
議会運営委員会
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 15日 総務委員会
- 16日 教育民生委員会
- 17日 産業建設委員会
- 19日 議会改革推進協議会
- 23日 議会まちづくり委員会
- 24日 議会運営委員会  
会派代表者会議

- 25日 3月定例議会閉会
- 26日 議会改革推進協議会  
広報編集委員会

## 4月

- 2日 議会運営委員会
- 6日 議会改革推進協議会作業部会
- 7日 災害土砂処理委託調査特別委員会
- 12日 議会運営委員会  
広報編集委員会  
議会改革推進協議会作業部会
- 14日 臨時議会
- 15日 災害土砂処理委託調査特別委員会  
広報編集委員会
- 19、20、21日  
災害土砂処理委託調査特別委員会
- 22日 広報編集委員会
- 23日 災害土砂処理委託調査特別委員会

## 6月定例議会の予定

- 6月28日 本会議(開会)
- 7月 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 12日 常任委員会(総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会)
- 15日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

## 編集後記(表紙の説明)

今回の表紙は防府駅舎及び駅前広場です。山陽鉄道開通時の駅舎を第一世代とすれば、この駅舎は、国鉄時代の建築で第二世代といえます。昭和37年11月1日に三田尻駅から防府駅に改称され、この日特急あさかぜをホームで迎え、運転手と車掌に花束を贈りました。また、駅前広場では駅名改称記念式が挙行され、引き続き公会堂で祝賀会が開かれました。この駅名改称は、防府市にとって永年の懸案でした。

そして、この写真は、昭和38年秋の山口国体を控え、昭和38年7月26日に防府駅の新駅舎が完工するまでの間に撮影されました。写真手前は、マツダ初の乗用車で、「R360クーペ」。昭和35年に発売され、356CC空冷2気筒OHV16馬力エンジン搭載の4人乗り軽乗用車。写真後ろは、軽乗用車の常識を塗り替えた「キャロル360」で昭和37年に発売されました。(マイマツダ「マツダの名車たち」より一部引用)

なお、本会議においては、傍聴者に議案等もお貸しし、また、委員会は原則公開としています。  
ぜひ本会議、委員会の傍聴にお来ください。

## 議会広報編集委員会

◎音藤 旭 土井 章

○河杉憲一 山根祐一

大田雄二郎

(◎)委員長、(○)副委員長